

「自分史」

八十七歳 女性

私は身体に気を付けて、

いまでも元気でいたいと思っております。

骨折の為にリハビリ目的で

平田東九州病院に入院する

発症について

平成二十一年一月初旬頃に

左股関節の痛みがあり、

店先で歩こうとしても、歩けず、

店の前でうずくまっていると、

店の人が孫に連絡してくれました。

孫が来てくれ、

店の人に台車を借りて、孫が台車をおしてくれて、

家に帰りました。

その夜はトイレに行くのも大変でした。

体を動かすにも不自由を感じ、痛みもありましたので

近所の方に来てもらい、病院に行かなければと思いました。

それから、かかりつけのA病院を受診しました。

左大腿部頸部骨折の診断が出ました。

手術をしないといけなと言われて、

B病院を紹介してもらいました。

一月二十三日に骨折部位の手術を受けました。

手術後の経過も順調で、リハビリ目的で

平成二十一年二月九日に平田東九州病院に

転院になりました。

入院について

リハビリして効果はありました。

押し車で、トイレにも行けるようになり、

病院内の移動も出来るようになりました。

リハビリの先生は本当に良くしてくれました。

私が自宅に帰ってからの事も考えて

病院の外で押し車を押して歩く練習をしてくれました。

少しずつですが、坂での歩行の練習も

一緒にしてくれました。

時々膝の痛みがありました。周囲の方々と

リハビリを頑張る事が出来ました。

ご家族について

私には孫が二人います。

その孫が病院関係の仕事をしています。

その病院に入院したせいか、

皆さん本当に良くしてくださいます。

私は孫を誇りに思います。そして嬉しく思っています。

娘も、孫と一緒に家を建てて、私も一緒に住もうと

優しい言葉を言ってくれます。

私は、娘も孫も働いているので、

迷惑をかけてはいけないと思う気持ちもあり、

どうしていいか？と考えています。

私が新しい家に住む為に、手すりの場所など

考えてくれているようです。子供の気持ちも嬉しく思い、

孫の気持ちも嬉しいです。

私と一緒にいないと、心配するのでしょうか。

今は本当にどうしたら良いのか思索しています。